

# 奈良県観光客動態調査報告書

---

令和2年1月～令和2年12月

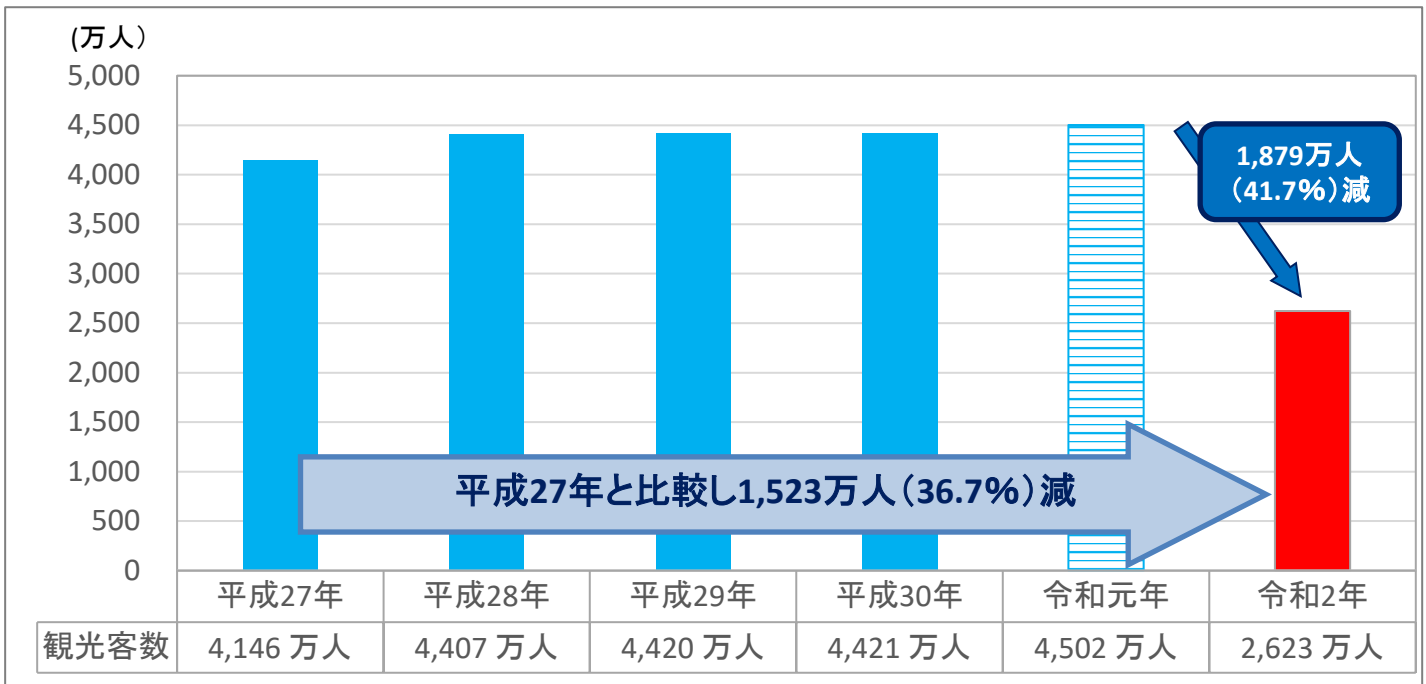
奈良県観光局ならの観光力向上課

## 1. 奈良県への観光客数(延べ人数)

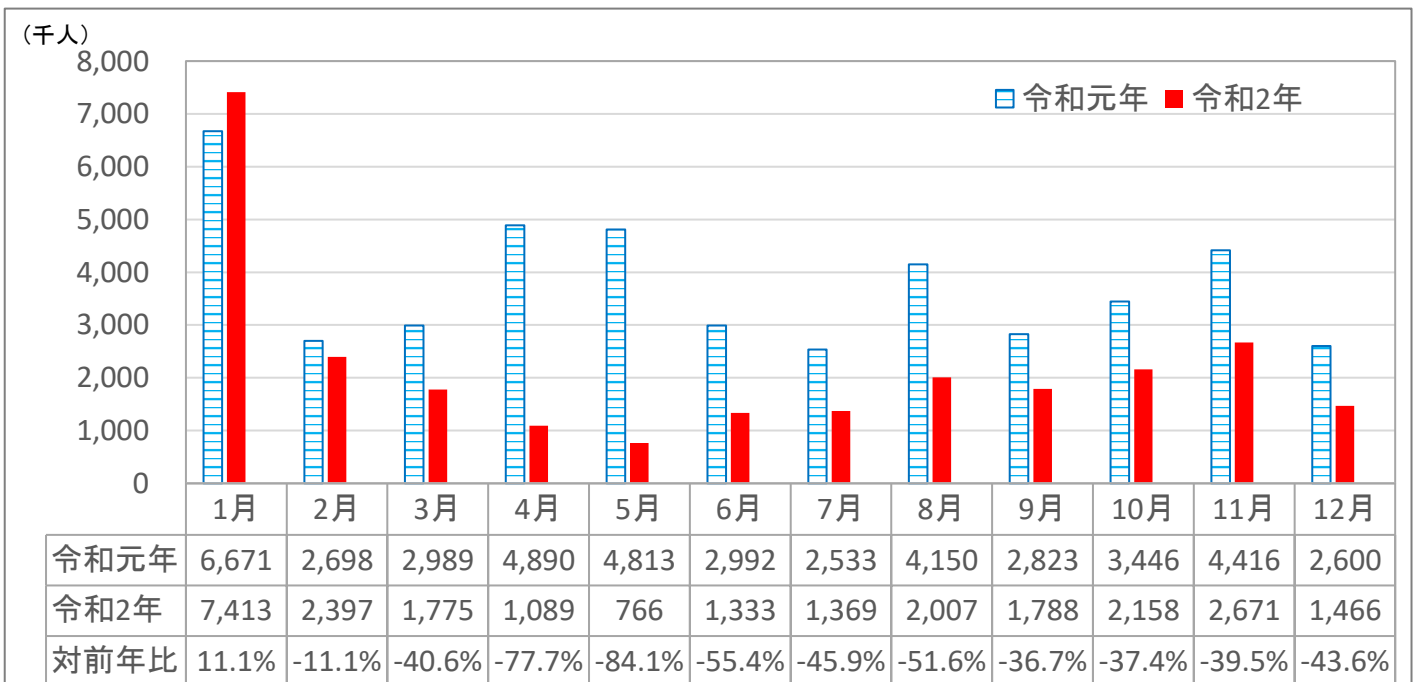
令和2年の奈良県観光客数は**2,623万人**で、前年比**1,879万人(41.7%)の減少**となりました。  
平成27年と比較すると**1,523万人(36.7%)の減少**となりました。

令和2年結果を月別にみると、令和になって初めて元旦を迎えたこともあり、1月は前年を上回る観光客数となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる政府の緊急事態宣言の発出により、4月から5月は観光施設の臨時休業やイベント行事の中止等の影響を受けて大きく落ち込みました。緊急事態宣言解除後も、県境をまたぐ移動自粛の呼びかけや、各観光施設における休園・休館や営業時間の短縮等により、昨年を下回る結果となりました。

延べ観光客数推移【平成27年～令和2年】

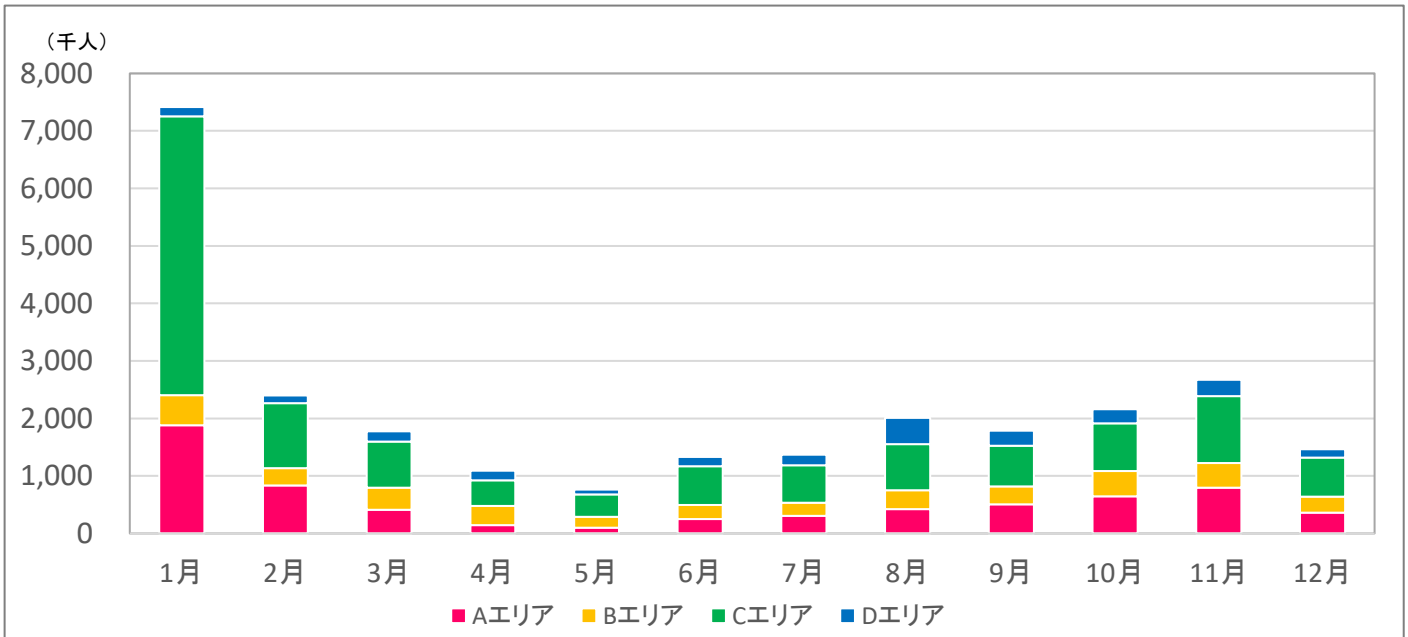


月別観光客数比較【令和元年、令和2年】



## 2. エリア別観光客数

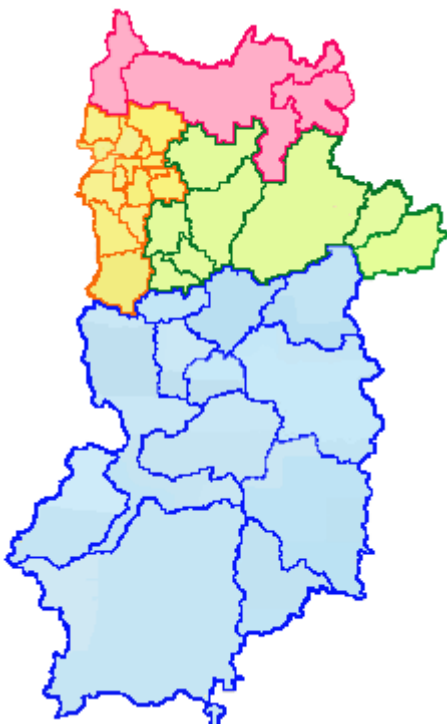
エリア別・月別観光客数



(単位:千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A エリア	1,883	834	410	143	100	250	306	424	509	648	799	363	6,670
前年比	4.9%	-22.6%	-59.8%	-89.7%	-94.9%	-77.7%	-61.6%	-79.2%	-47.9%	-52.8%	-50.3%	-63.6%	-58.7%
B エリア	520	303	385	336	188	243	228	328	312	440	425	280	3,988
前年比	1.6%	-9.3%	-37.0%	-72.3%	-71.5%	-50.9%	-34.1%	-3.4%	-21.5%	-15.8%	-29.6%	-20.6%	-37.5%
C エリア	4,849	1,126	801	448	392	675	651	800	704	824	1,161	677	13,109
前年比	15.3%	-0.5%	-29.5%	-73.0%	-78.4%	-40.6%	-39.9%	-37.6%	-38.7%	-36.4%	-35.8%	-36.5%	-30.2%
D エリア	162	134	179	163	86	164	185	455	263	245	285	145	2,465
前年比	0.7%	-13.0%	-19.8%	-74.2%	-78.4%	-30.9%	-39.8%	-6.9%	-12.2%	-3.8%	-27.8%	-20.3%	-33.9%
計	7,413	2,397	1,775	1,089	766	1,333	1,369	2,007	1,788	2,158	2,671	1,466	26,233
前年比	11.1%	-11.1%	-40.6%	-77.7%	-84.1%	-55.4%	-45.9%	-51.6%	-36.7%	-37.4%	-39.5%	-43.6%	-41.7%

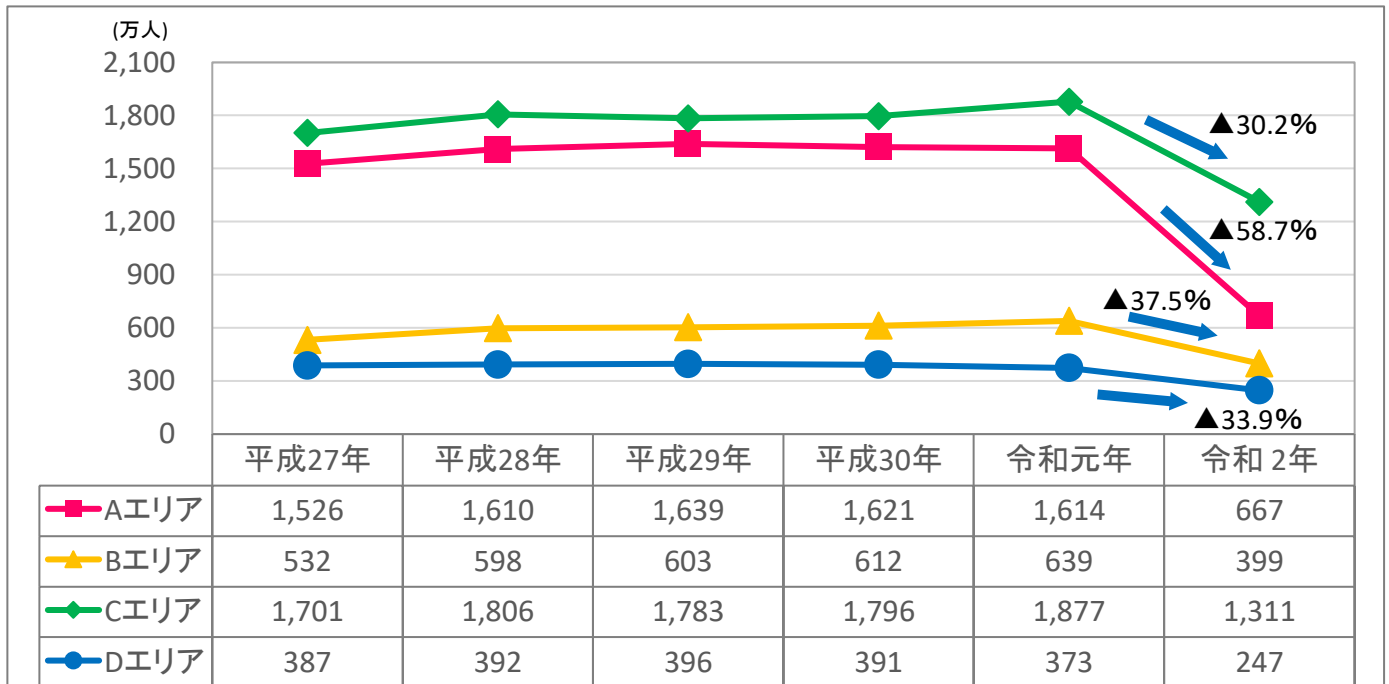
※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。



A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

## 2. エリア別観光客数

エリア別観光客数の推移【平成27年～令和2年】



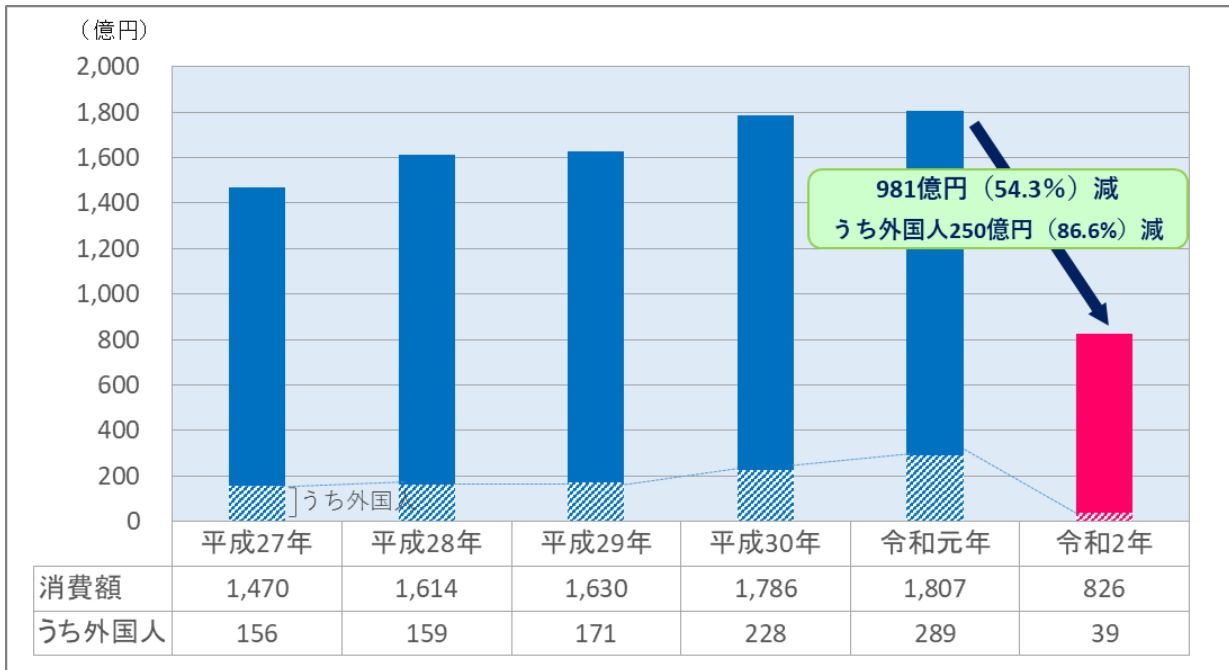
A	前年比： 947万人減 (▲58.7%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通しては58.7%の減少。訪日外国人観光客の大幅な減少や奈良市での「なら燈花会」や「奈良マラソン」などの大型イベントの中止が大きく影響した。
	平成27年との比較： 859万人減 (▲56.3%)	ここ5年間では、訪日外国人観光客の大幅な増加や、春日大社における第六十次式年造替、興福寺中金堂落慶などにより賑わいをみせていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じた。
B	前年比： 240万人減 (▲37.5%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通しては37.5%の減少。大和郡山市での「お城まつり」の中止や、社寺の客数減少などが影響した。一方で、道の駅や馬見丘陵公園など前年と同様の賑わいのあった観光地点もみられた。
	平成27年との比較： 133万人減 (▲25.0%)	ここ5年間では、馬見丘陵公園の来場者数の好調な推移や、平成30年4月の「唐古・鍵遺跡史跡公園」のオープン、信貴山エリアへの訪日外国人観光客の増加などで賑わいを見せていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じた。
C	前年比： 566万人減 (▲30.2%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通しては30.2%の減少。「令和」改元以降、関係施設や社寺で賑わいをみせていたが、新型コロナウイルスの影響による花火大会の中止や、社寺の客数減少が影響した。
	平成27年との比較： 390万人減 (▲22.9%)	ここ5年間では、平成28年9月の「キトラ古墳壁画体験館 四神の館」のオープンや、飛鳥・山の辺などエリア全体への訪日外国人観光客の増加など賑わいを見せていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じた。
D	前年比： 126万人減 (▲33.9%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通しては33.9%の減少。キャンプ等のアウトドア需要の高まりや、3密の回避につながる、自然が多い地域への訪問意向の高まりと合わせ、一部のキャンプ場や道の駅などでは前年と同様の賑わいのあった観光地点もみられた。
	平成27年との比較： 140万人減 (▲36.2%)	ここ5年間では、路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンの実施や近鉄の観光特急「青の交響曲」の運行開始もあり、エリア全体としては観光客数を維持していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じた。

### 3. 宿泊・日帰り別観光消費額

令和2年の観光消費額は**826億円**で、前年比**981億円(54.3%)の減少**となりました。  
平成27年と比較すると**644億円(43.8%)の減少**となりました。

観光消費額が減少した主な要因としては、観光入込客数が前年比で▲10,527千人(▲38.5%)と大きく減少したことが影響しました。

観光消費額の推移【平成27年～令和2年】



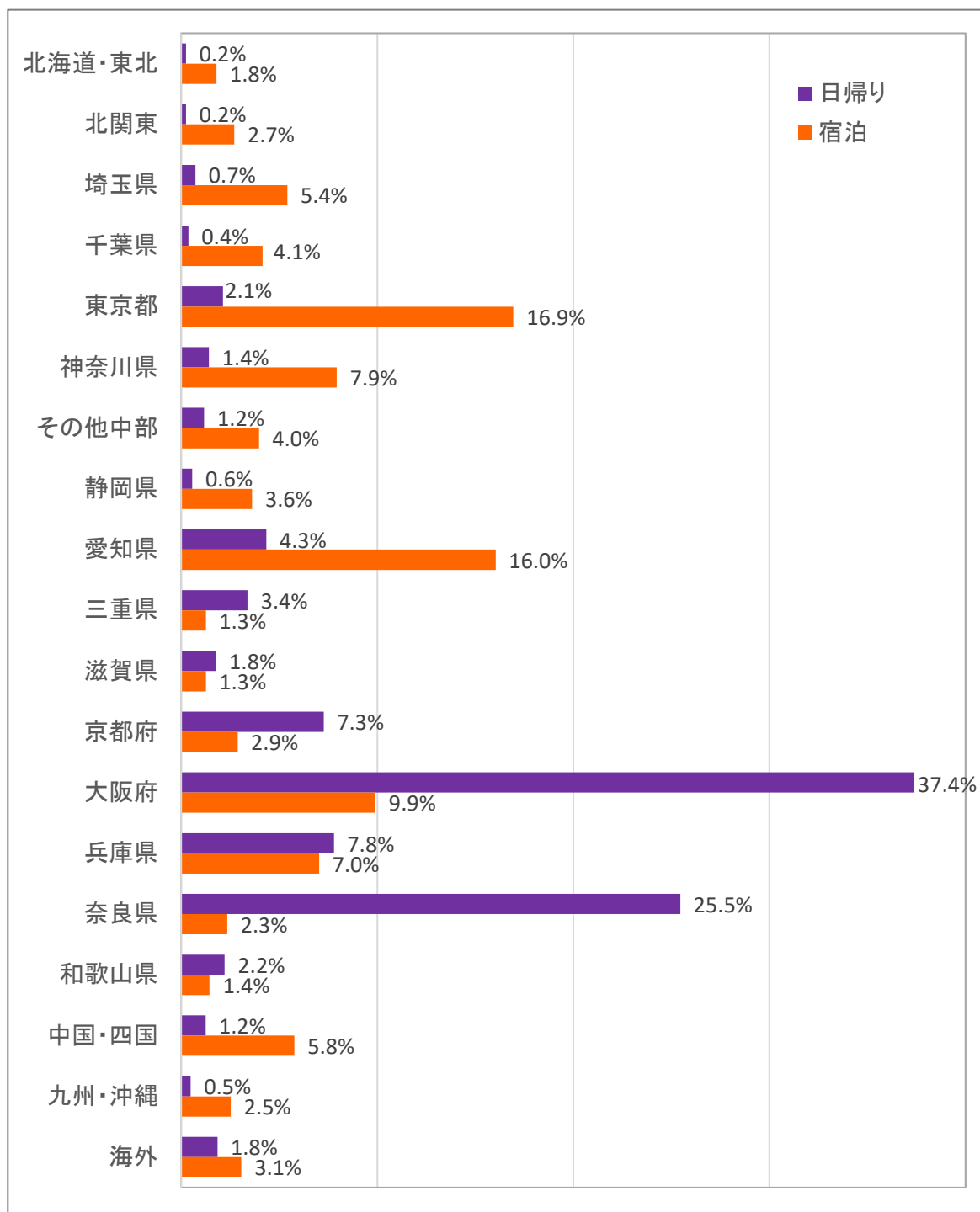
		令和元年	令和2年	前年比較	
観光消費額		(単位:百万円)			
観光消費額	宿泊	68,299	33,064	-35,236	-51.6%
	うち外国人	15,791	1,510	-14,281	-90.4%
	日帰り	112,392	49,539	-62,853	-55.9%
	うち外国人	13,096	2,350	-10,746	-82.1%
合計	180,692	82,603	-98,089	-54.3%	
うち外国人	28,886	3,860	-25,026	-86.6%	
1人あたり観光消費額		(単位:円/人回)			
1人あたり観光消費額	宿泊	24,807	23,211	-1,596	-6.4%
	外国人	27,079	37,722	10,643	39.3%
	日帰り	4,569	3,217	-1,352	-29.6%
	外国人	5,914	6,368	453	7.7%
合計(平均)	6,606	4,910	-1,697	-25.7%	
外国人	10,326	9,435	-891	-8.6%	
観光入込客数(実人数)		(単位:千人回)			
観光入込客数(実人数)	宿泊	2,753	1,424	-1,329	-48.3%
	うち外国人	583	40	-543	-93.1%
	日帰り	24,599	15,401	-9,199	-37.4%
	うち外国人	2,214	369	-1,845	-83.3%
合計	27,352	16,825	-10,527	-38.5%	
うち外国人	2,797	409	-2,388	-85.4%	

※観光入込客数(実人数)：延べ入込客数を基に、アンケート調査により得た観光客1人あたりの平均訪問地点数等を考慮し推計しています。  
※令和2年外国人の項目は1-3月のみの集計値となります。(新型コロナウイルス感染症の影響により、4-12月は欠測)

## 4. 来訪者の発地

### ■ 来訪者の発地割合（アンケートの回答者数：3,045人）

- ・日帰り観光客は近畿圏（82.0%）からの来訪者が多く、最も多いのが大阪府（37.4%）、次いで奈良県内（25.5%）、兵庫県（7.8%）となっている。
- ・宿泊観光客は関東圏（37.0%）や中部圏（24.9%）からの来訪者が多く、最も多いのが東京都（16.9%）、次いで愛知県（16.0%）となっている。



※ 奈良県内での宿泊を伴わない観光客を日帰り観光客として集計しています。

※ 回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
北関東	茨城県 栃木県 群馬県
その他中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

## 調査の概要(参考)

観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(以下、「共通基準」という。)に準拠した調査を四半期ごとに実施し推計を行った。

なお、報告書内の数値は、端数を四捨五入して表記している。

## 観光地点等入込客数(延べ人数)調査

市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計。

【集計対象数】 … 221

### 【調査対象】

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とした。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

## アンケート調査

県内の10地点において、平均訪問地点数、観光消費額単価等について調査を行った。

【アンケート回答者数】 … 3,045人

### 【実施場所】

- ・ 東大寺
- ・ 唐招提寺
- ・ ならまち格子の家
- ・ 大神神社
- ・ 長谷寺
- ・ 信貴山朝護孫子寺
- ・ 法隆寺
- ・ 石舞台古墳
- ・ 金峯山寺
- ・ 道の駅「十津川郷」

### 【実施時期】

- ・ 冬 : 令和 2年 1月18日(土)、25日(土)、26日(日)
- ・ 春 : 令和 2年 6月27日(土)、28日(日)
- ・ 夏 : 令和 2年 8月 8日(土)、 9日(日)
- ・ 秋 : 令和 2年11月14日(土)、15日(日)、22日(日)